

## Q 階をまたぐ電気配線を作図したい

## A [立上り/引下げ]コマンドを使用します

[立上り/引下げ]コマンドを使用し、縦方向の配線を作図します。

平面



断面



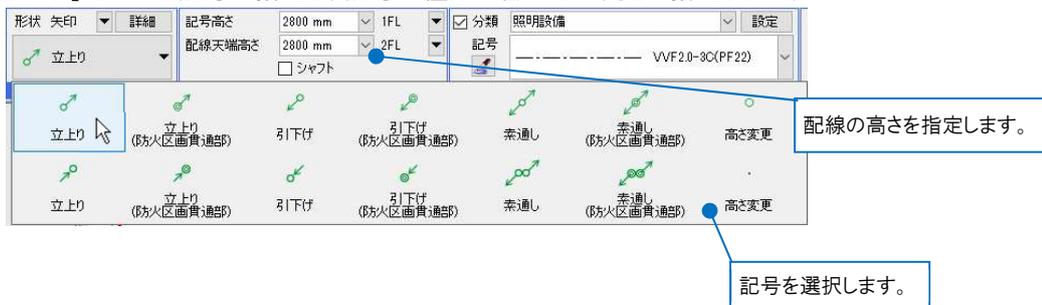
1

[電気]タブ-[立上り/引下げ]をクリックします。



2

[作図方法]パネルで記号を指定し、記号の種類に合わせて高さを指定します。

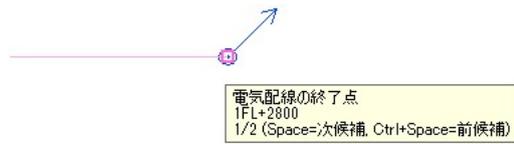


- ・立上り記号: 記号の高さと配線の天端高さを指定します。  
「記号高さ」から「配線天端高さ」までの縦の配線が作図されます。
- ・引下げ記号: 記号の高さと配線の下端高さを指定します。  
「記号高さ」から「配線下端高さ」までの縦の配線が作図されます。
- ・素通り記号: 配線の天端高さとは下端高さを指定します。指定した高さの配線が作図されます。  
配置した記号の高さは、配線の天端高さとは下端高さの中間になります。
- ・高さ変更記号: 配線の天端高さとは下端高さを指定します。指定した高さの配線が作図されます。  
配置した記号の高さは、配線の天端高さになります。

3

作図位置を指定し、挿入すると、縦方向に配線が作図されます。

平面



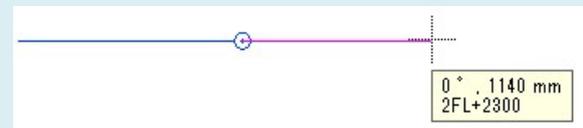
断面



### ●補足説明

記号から横引きの配線を続けて作図する場合は、[高さ変更]記号を作図し、ルート作図のハンドル(黄)で作図できます。

平面



断面



[立上り]/[引下げ]記号から横引きの配線を作図する場合は、縦方向の配線が重複しないように記号の高さを設定します。



[記号高さ]と[配線天端高さ]([配線下端高さ])を同じ高さにします。

## ●補足説明

電気配線の高さは、配線作図の時に設定することができます。

作図方法: 本数 1, 間隔 2 mm, 用紙サイズ

分類: 照明設備, 設定

記号: VVF2.0-3C(PF22), 敷設記号

敷設方法: 敷設方法

高さ: ● 高さ 2800 mm, 1FL, ○ 部屋に作図する, 天井 0 mm

コマンド起動時には、敷設方法に設定されている高さが表示されます。

作図方法: 本数 1, 間隔 2 mm, 用紙サイズ

分類: 照明設備, 設定

記号: VVF2.0-3C(PF22), 敷設記号

敷設方法: 敷設方法

高さ: ● 高さ 2800 mm, 1FL, ○ 部屋に作図する, 天井 0 mm

敷設方法の高さは、[電気]タブ-[敷設方法の設定]の[高さ]欄で確認できます。

名前	線種	高さ
天井隠ぺい	実線	2800
床隠ぺい	破線(6mm)	0
露出	破線(4mm)	0
天井隠がし	一点鎖線(10mm/1m..)	2300
天井ふところ	一点鎖線(10mm/1m..)	2300
床隠がし	二点鎖線(10mm/1m..)	0
床面露出	二点鎖線(10mm/1m..)	0
二重床	二点鎖線(10mm/1m..)	0
床埋設	一点鎖線(5mm/0.5m..)	0
地中埋設	一点鎖線(10mm/1m..)	0
ケーブルメゾン吊	破線(2.6mm)	0
トラフ・ピット	破線(4mm)	0
レースウェイ	実線	2300

追加 編集 削除

設定の読み込み・保存 OK キャンセル